



恵佑会だより

2013.5 Vol.12

発行・社会医療法人 恵佑会札幌病院

〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号

TEL 011-863-2101 FAX 011-864-1032 <http://www.keiyukaisapporo.or.jp/>

2013
春号
Vol.12

恵佑会第2病院院長に高橋宏明先生が就任いたしました

医TV「医療のチカラ」“胃がん治療の現場から”に
取材協力いたしました

手術支援ロボット「da Vinci S」による
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の現況

地域住民講座 開催のご報告

訪問看護ステーション恵佑会のご紹介

診療情報管理室のご紹介・
院内がん登録について

ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)と
胃がんについて



恵佑会第2病院院長に高橋宏明先生が就任いたしました

ご挨拶

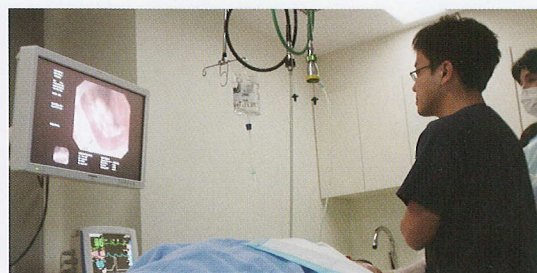


院長 高橋宏明

2013年3月1日付をもちまして、恵佑会第2病院の院長に就任いたしました。その重責を担うに当り、身の引き締まる思いであります。

当院は、内視鏡検査・治療中心に高度な内科医療の提供を目指して、2012年3月1日に開院いたしました。「質の高いがん医療」を目指す恵佑会における消化器内科部門の最前線として、がんの早期発見・早期治療に取り組んでいます。なお、恵佑会札幌病院とは緊密な連携体制をとり、外科的治療や放射線治療が必要な場合にもスムーズに対応し、高度ながん医療の実現を目指してまいります。

常に患者さん目線で診療を行い、患者さんが安心して受診できる病院を目指し、地域医療にも積極的に貢献してまいります。



食道がんの内視鏡的治療(ESD)の様子

医TV「医療のチカラ」“胃がん治療の現場から”に取材協力いたしました

2月16日(土)に放映された、医TV 特集企画「医療のチカラ “胃がん治療の現場から”」に取材協力いたしました。

番組では、高橋宏明第2病院副院長(当時)より胃がんの病態と治療の指針について、奥田博介腫瘍内科副部長(札幌病院)より胃がんにおける薬物療法についてお話をいたしました。また、小平純一内科副部長(札幌病院・第2病院)による胃がんの内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の様子もご紹介しました。

全てのがんに共通することですが、胃がんは早期に発見することができれば根治が期待できます。胃は、日常の食生活やストレスにさらされやすく、胃の痛みや、不快感等の症状を感じている方は多いのが実情です。特に50歳以上のピロリ菌感染者が多い世代においては、毎年定期的な内視鏡検査を受けることが望ましいと、締めくくりました。

放映内容は、下記ホームページに掲載されていますので、ご興味のある方は是非ご覧ください!

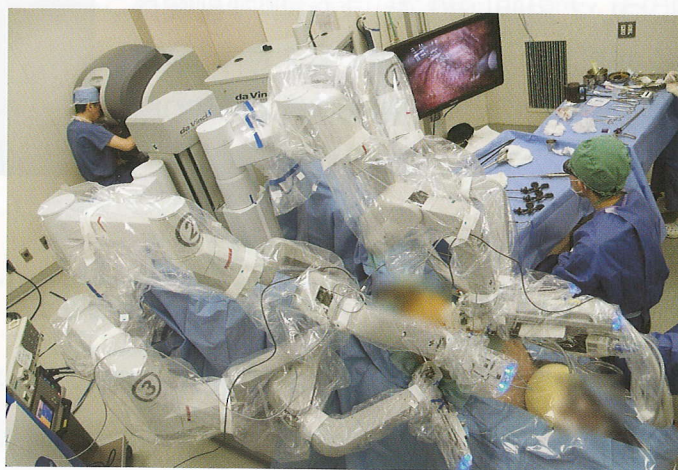
<http://www.htb.co.jp/med/archive/index.html>



手術支援ロボット「da Vinci S」による ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の現況

昨年春の「恵佑会札幌病院だより」に掲載しましたように、当院では2012年3月より「da Vinci S」によるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を開始しました。保険適用から1年間が経過し、その有用性が徐々に認知されている状況です。今回、ロボット手術の利点と恵佑会札幌病院における手術の状況を改めてご報告いたします。

2012年3月から1年間でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を86症例施行しました。これまで当院では1年間にほぼ20～30症例の前立腺全摘除術を行っており、症例数が急増したことになります。このことはロボット手術に対する需要、期待がいかに高いかと言うことを改めて認識させられるものでした。初回手術まで周到な準備と長時間の練習を行い、また、初期の症例は指導医を招聘したこともあって初回からスムーズな手術が可能でした。



86症例の患者さんの経過をみてみますと、ロボット手術は開腹手術に比較し、明らかに疼痛が少なく術後の回復が早いため、社会復帰が早くなっています。出血量は開腹手術の1/3～1/4であり、最近ではほとんどの症例は100ml以下となり、出血量がカウントできないくらい少量ということもよくみられます。また、同じ低侵襲手術である通常の腹腔鏡下手術と比較すると、前立腺摘除後の膀胱と尿道の吻合が問題にならないくらいに精密に行うことが可能で、術後の尿失禁の頻度が低く、失禁消失までの期間が短くなりました。

今後は前立腺全摘除術の精密度を更に向上させ、“がんの根治性”と“排尿・性機能の回復率向上”という言わば相反する目標の両立をめざしていきます。また、局所進行がんに対する拡大前立腺全摘除術も積極的に行う予定です。

欧米では既に腎がんに対する腎部分切除術、膀胱がんに対する膀胱全摘除術が「da Vinci S」によって広く行われています。日本においてはまだ保険適用となっていませんが、近いうちに先進医療として認められる可能性が高くなっています。当院でもこの二つの手術の実施に向け準備を進めています。

地域住民講座 開催のご報告

2009年に札幌病院でスタートした地域住民講座を、今年より第2病院においても開催しております。

昨年12月以降に行った双方の講座内容を抜粋し、以下に掲載いたします。今後も定期的な開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。



■ 恵佑会札幌病院 ■

第26回 「高精度放射線治療の当院でのアプローチ」

2012年12月1日(土)開催

講師:副院長・放射線治療科主任部長 明神美弥子 / 放射線治療科医学物理士 棚邊哲史

棚邊医学物理士より放射線治療の歴史、概要をお話しし、IMRT(強度変調放射線治療)について説明しました。また、明神副院長は、コンピュータやCT技術を用いて、患部を画像で捉えて行う放射線治療であるIGRT(イメージガイド放射線治療)の当院での取り組みについて、様々な症例等を用いて解説いたしました。



第27回 「緩和ケア病棟ってどんなところ？」 「もっと知りたい! 緩和ケア～がんとともに暮らす～」

2013年2月23日(土)開催

講師:副院長・看護部長(緩和ケア認定看護師) 渡辺由美 / 緩和ケア内科 上田敬子

渡辺副院長が当院の緩和ケア病棟について、写真を交えて紹介しました。上田医師より「『緩和ケア』と聞いて、どのような印象を持ちますか?」という会場への問いかけから『緩和ケア』が持たせるイメージや実際の概念などを解説いたしました。苦痛や治療、終末期にかけて家族との大切な時間をどのように過ごすのかなど、当院の緩和病棟の取り組みを紹介しました。



第28回 「がんに対する恵佑会の取り組み～過去から未来へ～」

2013年4月13日(土)開催 講師:恵佑会理事長 細川正夫

1981年の恵佑会札幌病院開院から緩和病棟開設、がん診療連携拠点病院の指定、第2病院の開院など、現在に至る歴史を振り返りながら、がんの概要や検査法、診断法、治療法について説明しました。また、恵佑会札幌病院の特徴を、症例数だけでなくダヴィンチ手術、緩和病棟、美容室など幅広く紹介しました。最後に「恵佑会のこれから」として、変化する日本の医療事情や超高齢化社会、TPPがもたらす問題についてお話し、時代の変化に対応しながら、患者さんに「ありがとう」と言ってもらえる医療を提供したいと締めくくりました。



■恵佑会第2病院■

第1回 「恵佑会第2病院の内科診療について」 「よくわかる食道がん・胃がん・大腸がん」

2013年1月26日(土)開催

講師:消化器内科 院長(当時) 小池容史 / 副院長(当時) 高橋宏明

冒頭、小池院長より恵佑会第2病院の診療内容や施設など病院紹介をいたしました。引き続き、高橋副院長より、日本人のがんによる死亡率など全体的な統計データに言及した上で、食道がん・胃がん・大腸がんについて解説いたしました。そして、「定期的な内視鏡検査などにより早期発見・治療が行えるようにしていくことが非常に重要です」と話していました。



第2回 「膵臓がんについて～初期症状から診断、治療まで～」

2013年3月23日(土)開催 講師:消化器内科 大橋広和

膵臓がんについて、グラフなどを用いて他臓器との比較をしながら、その特徴を解説し、検査方法や標準的治療の説明をいたしました。そして、「健康診断では膵臓がんの発見は困難です。いつもと違う腹痛があれば、あなどらずに早めに受診されることをお勧めします。患者さんそれぞれに適切な診断法・治療法がありますので、お気軽にご相談ください」と締めくくりました。



訪問看護ステーション恵佑会のご紹介

はじめまして。訪問看護ステーション恵佑会所長の山崎美恵と申します。2012年1月より休止しておりました訪問看護ステーション恵佑会は今年4月1日から再開する運びとなり、私が管理者として着任いたしました。現在のスタッフは私を入れて3人の訪問看護師で頑張っています。当ステーションは「社会医療法人恵佑



会」の組織の中に属しており、病院の理念のもとに、ご家族を含め、大切な人が、安心して地域で生活できるように訪問看護を通してサポートさせていただきます。また、がんになっても治療期から終末期、人生の終止符まで、病院や地域と連携しながらその人の生き方をチームで支えていきたいと考えております。当ステーションは、「モーニング」というサービス付き高齢者向け住宅の中にあります。そこでは介護と医療が連携しながら高齢者を支えることもしております。現代の少子・高齢化社会の背景を考えつつ、いつでも、どこでも、安心・安全な看護が受けられ、地域の皆さまをお支えしながら、地域貢献していきたいと思っております。これから、どうぞ宜しくお願い申し上げます。 TEL:(011)868-0102

診療情報管理室の紹介・院内がん登録について

診療情報管理室は2006年6月DPC準備病院への参加等のために新設されました。当初はDPCの様式1の作成・退院時サマリーのチェック・カルテ管理・カルテ開示等が主な業務でした。2008年からDPC対象病院となり、従来の業務に加えて他院画像の電子カルテへの取込みや、当院画像のCD-R作成・USBへの取り出しを始めました。そして2009年からは、院内がん登録を開始しています。



2007年にがん対策基本法が施行されました。これにより、全国どこでも質の高いがん診療を提供できるよう、がん治療の均てん化を推進することができるよう各都道府県および地域において、その整備が進められてきました。がん診療の拠点となる病院が、院内がん登録の体制整備を通じて施設の実態を把握し、国レベルでのがん対策の進捗を評価することも目的に含まれています。

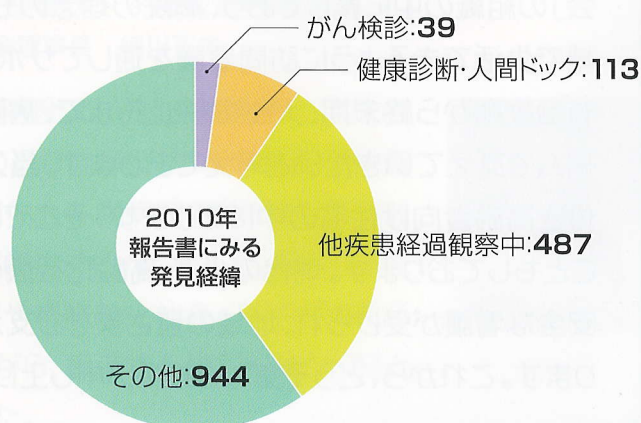
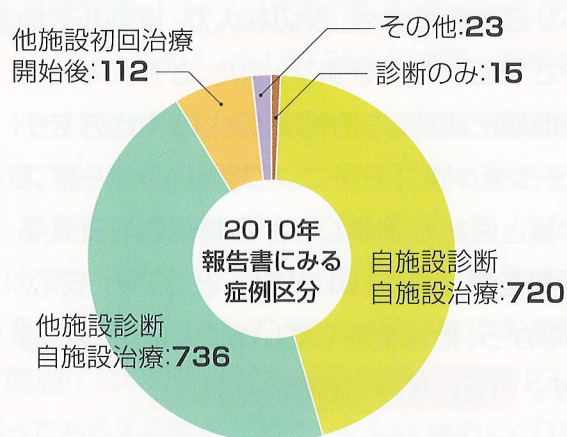
当院はがん診療連携拠点病院の指定を受けておりますが、それにより院内がん登録のデータを国立がんセンターがん対策情報センターに提出することが定められています。昨年12月には2011年分1614件のデータ提出を行いました。

登録は、がん治療の初回治療が対象となり、UICC(国際がん連合)のTNM分類により1腫瘍1登録の原則に基づいて行っています。昨年10月に2010年院内がん登録全国集計報告書が公表されたのですが、当院は北海道内21の拠点病院中5番目に多い登録数となっています。

また、特徴として自施設診断自施設治療数より他施設診断自施設治療数が上回っており、他の医療機関からの紹介患者数が多いことがうかがえます。がんの発見経路についても他疾患経過観察中が多く、院内の連携が読み取れます。

現在、2012年のがん登録を開始していますが、2012年よりUICC(国際がん連合)のTNM分類が今までの第6版から第7版へと変わり、最新の知識やQuality Indicatorが必要とされます。

診療情報管理室は、これからも専門的な知識や技術を習得するために、研修会への参加等を含めて、更にレベルアップするよう頑張りたいと思っています。



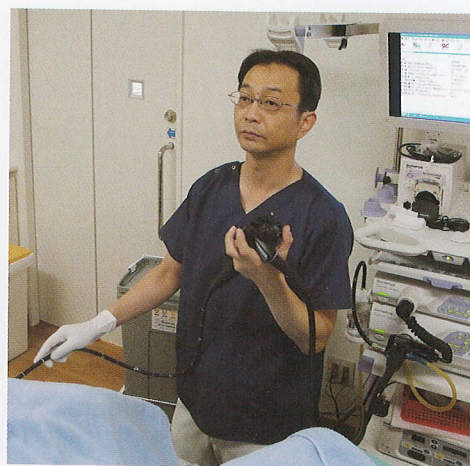
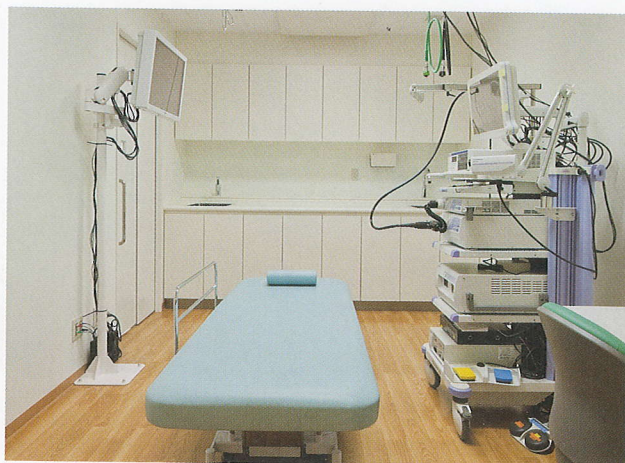
ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)と 胃がんについて

ヘリコバクター・ピロリ(以下、ピロリ菌)は、慢性胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃がん、マルトリンパ腫、血小板減少性紫斑病、貧血など様々な疾患の原因となる細菌です。かつては、胃内(強酸が分泌される)に生息可能な細菌はいないだろうと考えられてきましたが、若き研究者ウォーレンとマーシャルの熱意により1982年、培養に成功。また、自らピロリ菌を飲むことによって、その病原性が確認され、二人は2005年ノーベル生理学・医学賞を受賞しています。ピロリ除菌により様々な疾患の治療や予防が可能となることが証明され、本邦でも胃十二指腸潰瘍を筆頭に保険収載疾患が拡大されてきました。日本ヘリコバクター学会をはじめとする多くの方々の努力が実り、ついに本年から慢性胃炎に除菌治療が認可されました。

本邦をはじめとするアジアは世界的に胃がんの発症率が高いことが知られています。これは、ピロリ菌感染率が高く塩分の多い食事を摂取するためと考えられています。本邦は、早くから国を挙げて胃がんの早期発見、診断および治療に取り組んできました。バリウムで培われたハイレベルな診断学は内視鏡に受け継がれ、近年更に高性能なNBI(狭帯域光観察)拡大内視鏡の開発普及に至りました。また、鍛え抜かれた外科手術や内視鏡治療の技術は世界をリードし、素晴らしい治療成績に結びついてきました。

胃がんは将来的には激減するものと考えられていますが、これは、衛生環境の改善とともにピロリ菌感染率が低下しているためです。そして今春の除菌適応の拡大により胃がん罹患率減少に拍車がかかることは間違いないと思われます。当院でも胃がんで苦しむ方が一日も早くいなくなるように広報活動や検査体制を整えていきたいと思えます。

保険適応となった慢性胃炎の診断には内視鏡検査が必要です。内視鏡といえば苦しいと思う方が大半だと思いますが、恵佑会では安心して検査を受けることができます。塚越洋元先生(現札幌病院顧問)が20年以上前から提唱している鎮静下内視鏡検査を札幌病院、第2病院ともに行っているからです。



法人概要

名称	社会医療法人恵佑会(シャカイイリョウホウジン ケイユウカイ)
理事長	細川 正夫
開設	恵佑会札幌病院: 1981年3月1日 医療法人恵佑会: 1984年4月1日 社会医療法人恵佑会: 2010年9月1日
事業所一覧	恵佑会札幌病院、恵佑会第2病院、恵佑会歯科口腔外科クリニック 恵佑会本通クリニック、訪問看護ステーション恵佑会、居宅介護支援事業所恵佑会
関連施設	サービス付き高齢者向け住宅モーニング

●恵佑会札幌病院 概要

代表者	院長 平川和志
所在地	〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号
電話	(011)863-2101(代表)
FAX	(011)864-1032
ホームページ	http://www.keiyukaisapporo.or.jp/
診療科目	外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、 気管食道外科、消化器内科、腫瘍内科、 緩和ケア内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、 アレルギー科(耳鼻)、泌尿器科、 放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、 歯科、歯科口腔外科
入院病床数	229床 (緩和ケア病棟24床、特定集中治療室4床) (DPC対象病院、一般病棟入院基本料7:1)
併設 各種指定	恵佑会放射線画像センター 地域がん診療連携拠点病院 日本医療機能評価機構認定病院 (審査体制区分3、ver.6.0)

●恵佑会第2病院 概要

代表者	院長 高橋宏明
所在地	〒003-0027 札幌市白石区本通13丁目北7番1号
電話	(011)863-2111(代表)
FAX	(011)863-2261
ホームページ	http://www.keiyukai2.jp/
診療科目	内科、消化器内科、放射線診断科
入院病床数	135床(個室39床) (一般病棟入院基本料10:1)

●診療時間

平日/午前8:30~12:00(受付8:00~11:30)
午後13:00~17:00(受付12:00~17:00)
土曜日(歯科のみ)/午前8:30~12:00
(受付8:30~11:30 初診の場合は11:00まで)
※診療・受付時間は診療科で異なる場合がございます。※日・祝日は休診です。

●交通機関

地下鉄

東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分
(3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)

JR北海道バス

JR北海道バスターミナル札幌駅、新札幌駅、北広島方面より
[1][1-3][13][15][22][24][26][33]にご乗車ください。

JR北海道バス(高速バス)

えりも・様似・浦河・静内方面より
「高速えりも号」にご乗車ください。

中央バス

地下鉄東西線白石駅バスターミナルより[34]にご乗車ください。

バスはすべて「白石神社前」停で下車(快速は停車しません)

